

オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2016年
10月号
2016.10.15発行
第180号

日本語能力試験合格おめでとう!!!



(キム ミ ギョンさん)

私はコンです。1回落ちたけれどあきらめないでオリーブで勉強したおかげでN3に合格しました。これからも自信をもって日本語の勉強を続けます。



(グエン タイン コンさん)

私はベトナムのトゥンです。オリーブの先生たちによく教えていただいたおかげでN3に合格しました。とてもうれしいです。これからも頑張ります。



(グエン ヴァン トウンさん)



(ヨグス ガヤックさん)

日本に来た時、日本語を全く分からない人でした。周りの人たちの話も分からなかった。少しずつ勉強しながら日本人と沢山会話をするようになり、私の会話して聞いて理解するだけでした。読書力はなかったので自分で子供の絵本を読んだり書いたりするようになりました。そのうち日本語の読書力も上達して分からなかった所を近くのオリーブの先生たちに教えてもらいN3を受かってとっても嬉しいです。今の私、毎日日本語の新聞や雑誌を読むようにしています。



(グエン ヴァン トアンさん)

N1に合格するまでオリーブで勉強したのが一番役に立ちました。あまりまじめな性格ではないんですが、ここで漢字を勉強しながらよく知らないところは先生にたくさん質問しました。いつも先生からやさしい説明といろんな例文を聞いて勉強しましたからついに合格できたと思います。一美先生ありがとうございます。

タインさん、頑張れ!

私はベトナムから参りましたグエンヴァントアンと申します。1年前からオリーブ日本教室に参加しています。オリーブで先生たちに熱心に教えていただいたおかげでN2に合格できました。めっちゃうれしいです。ありがとうございます。これからも頑張らないといけません。よろしくお願いします。

中川先生のへんてこ日本語

75

やさしい日本語

インドネシア・バリで開催された「日本語教育国際研究大会」に参加した。行き帰りの飛行機に、同じように参加した何名かの日本語教師と乗り合わせた。面識のある人もいれば、面識のない人もいるのだが、日本語教師はすぐ分かる。空港や機内で、数名あるいは2、3人の単位で話している、朗々と響く日本語が聞こえてくる。つまり日本語教師の話し方には特徴がある。活舌がいい、基本的に標準語アクセント、教科書準拠の話し方、抑揚がある、最後まではっきり発音する等、分かりやすく不安を感じない。

ところで先日「防災の日」に防災無線から、なにやら日本語らしきものが聞こえてきたが、全く何をいっているのか聞き取れない。拙宅の近くに防災無線が設置され、毎週日曜日の夕方、テスト運転のため「夕焼け小焼け」の音楽が聞こえてくるのだが、その音楽はクリアに聞こえても、肝心の防災連絡が聞き取れないのは遺憾に思った。熊本地震の折、避難所へ行政の人がやってきて、なにやら説明するのだが、外国人には何をいっているのやら全く分からなかったという。活舌や方言の問題に加えて、語彙や文型の選び方にも工夫が必要である。「直ちに非難する」↓「すぐ非難する」、「帰宅困難」↓「うちに帰るのが難しい」など、日本語教育でいう習得順序に則って、学習者の日本語レベルに合わせた話し方ができると、外国人フレンドリーである。市町村では「防災マニュアル」作成の動きがある。作成に当たって、英語版、中国語版など、各国の翻訳版を用意するのもいいが、「やさしい日本語版」を作成し、在住外国人に配布するのも、「やさしい地域行政」につながるのではないか。そんな時、日本語教師が社会に貢献できる可能性が広がり、活躍の舞台も拡大するのではないかと感じた。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



「日本語教育支援者研修」を振り返って



9月8日（木）から9月25日（日）まで各曜日3回にわたって「はじめての日本語ボランティア」講座が開かれました。

第1回は日本語文法と学校文法（国語文法）の違いについて学びました。私たちが小さい頃から当たり前のように話している日本語を外国語として客観的に捉えることがまず必要な事です。日本語文法とは日本語を第二外国語として学ぶときの文法をさし、国語文法は日本語を母語として学ぶ文法です。例えば動詞の活用なども学校文法では五段活用、一段活用、変格活用と分類しますが、日本語文法ではⅠグループ、Ⅱグループ、Ⅲグループという風に分類します。日本語養成講座参加者やすでに日本語を教えている経験のある人にとっては分かりやすい講座でしたが、全く初めての人には理解しにくい内容だったかもわかりません。しかしこのように原点に戻って勉強する機会のない私にはとても役に立った講座でした。（レポート重松）



（第1回講座の様子）

第2回は形容詞と格助詞の教え方についてでした。

初めての経験だったのはひとつの名詞に「が、を、に、で、から、より、と、へ」を

つけて例文を次々に作る練習。「ビタミン」がお題になりましたが、ビタミンへ…などはけっこう難しかったです。

まず教える側が、各々の格助詞の用途を理解しておくことが大事とのことでした。日本人は文法に照らすまでもなく感覚的に適切な助詞を使えますが、生徒にとっては外国語。例文を示す、作らせるというのが理解の一步になりますので授業にも積極的に取り入れたいと思いました。また、例文（学校に行く、学校へ行く）、（家族と行く、家族で行く）に出てくるような「に」と「へ」、「と」と「で」の微妙な用途の違いは日本人同士でも説明が難しく、ましてや外国人に教えるとなるとどうやって教えるか、と自分だと悩むなと思いました。



（第2回講座の様子）

日本語はほんとうに繊細だと思います。格助詞は一部外国語にもありますが、日本語のように細分化されていないのではないのでしょうか。これを間違わず使い分けている外国人の日本語を聞くと習得レベルがよくわかります。これを教える側がレベルを上げておかないといけないな、と感じました。（レポート豊村）

3回目は「『ゼロ初級の人に遭遇！』・楽しく教えましょう」をテーマに模擬授業を中心とした授業ですすめられ

ました。オリーブの生徒さん5名が生徒役として参加してくれました。まず、ひらがなの五十音表を生徒さんと完成させ、その後「あ」行から単語を一文字ずつ生徒さんに答えてもらう（たとえば、「あ」はあたま、「い」はいぬ・・・）という内容でした。段林先生による実演後、参加者のなかから3名の方が先生役として模擬授業をしました。なかには、「ときどき」や「ぬるい」などの単語がでてきて、説明に困ってしまう場面もありました。段林先生からは、ゼロベースの生徒さんに対しては、なるべくイラストを使うなどして、説明しすぎないこと、また単語をだしてもらいながら、アクセントや長音などが正しく言っているかなどのチェックをすることを教えていただきました。



（生徒さん役の5人）

た。先生役の方々が明るく笑顔で聞き取りやすい声で授業をされたことを、段林先生から褒めていただきました。生徒役の方からは「とても楽しかった」「単語の意味に対する質問の時間がちょっと長かった」などと感想をいただきました。

最後に、語彙を学習するうえで、コロケーション（たとえば、将棋→さす、碁→打つ、風邪→ひく、インフルエンザ→かかる）で覚えるようにすることや、毎回の授業のときに何月何日何曜日かを必ず生徒に聞いたり、意味のない言葉（ばうばうなど）2分ほど発音の練習をしてから授業を始めるといったルーティンを決めているお話を聞かせていただきました。今後の授業でぜひ取り入れていけたらと思います。

段林先生、全3回の講義ありがとうございました。（レポート前田）



（先生役の人による模擬授業）

生徒役の学習者のみなさん

レさん	（ベトナム出身）
コンさん	（ベトナム出身）
ギャック ヨゲスさん	（ネパール出身）
文仲さん	（中国出身）
何（か）さん	（中国出身）



（第3回講座の様子）

生徒役を下さった学習者のみなさん

先生役をかって出て下さった講座出席者のみなさんありがとうございました。

オーブ先生たちによるルーエッセイ⑪

辻 恵子

みなさん、“紅型（びんがた）”という染物をご存知ですか？
これは、沖縄で独自に生まれ大切に継承されてきた美しい
工芸品のひとつです。私は、主人の転勤に伴い家族で、北は宮城県
から南は沖縄まで約3年ごと各地を転々としてきました。
南北に長い日本は、各地に独自の文化：言葉、歌（民謡）、踊り、工芸
そして食べ物等が生まれ、守られてきました。その中で私が最も魅せら
れたのが沖縄の美しい工芸品“紅型”なのです。

沖縄で暮らした約4年間、専門の先生について“紅型”を基礎から学びました。
1つの紅型作品は、大小に係わらず12の工程という長い手間と時間をかけて作り上げていくのです。
その中の主な工程を紹介します。

- 1 図案作成→型紙作り→型掘り
- 2 生地（特別仕様の綿布）の製錬：染色のための準備工程
- 3 豆汁づくり：大豆1カップ：水2カップ
- 4 色づくり→基本色は、朱、黄、ピンク、紫、深青の5色
この5色を混ぜ、豆汁で溶かし紅型独自の色を作ります。
色を作る材料は全て自然界の植物、木の芽、貝殻、石などで作られた物です。
- 5 型置き（特別仕様の糊を使用）→色さし→隅どり（ぼかし）：作品に立体感を出すため
隅どりは、2度、下塗りと上塗りをします。
この隅どりには、赤ぐま、黄ぐま、藍ぐま、桔梗ぐまの4色を作品に応じて使い分けます。



この様に自然界の多くの宝物といくつもの工程を経て完成された作品は何年経っても色あせることなく、今も我が家に紅型独自の美しさと華やかさをもたらせてくれています。私の宝物でもあります。

私の作品は、クッションカバー、袋物、壁掛け、大型タペストリー、暖簾、和装用帯、カバンなどです。



中村さんの季節折々 10月（神無月）

「健啖の衰えずして念願の初出場なり大阪マラソン」 ケンジ

スポーツの秋ですね～大阪マラソン、42.195km を走ります。完走目指してがんばります！

中村 健二



オーブでがんばっている学習者紹介その⑩

みなさん、こんにちは。

ベトナムから来ましたトアンと申します。実習生としてダイハツディーゼルという会社で働いています。実習期間はあと7か月くらいです。ほんとに早いと感じます。日本に来た目的はお金を稼ぐだけでなく日本語や日本の技術、文化などを学ぶことです。それが学べるようになるため日本語を勉強することが一番大切だと思います。なので、日本に来てから日本語を一生懸命勉強しています。日本に来てオーブ日本語教室を紹介してもらいほとんど毎週来ています。オーブ日本語教室で日本語や日本の文化も学べるし、同時に新しい友達とも知り合えるし先生たちも親切です。オーブに来て以来、皆に、特に先生たちに熱心に教えてもらったおかげで日本語能力試験N2に合格できました。日本語において一つの目標が達成できました。実習期間がだんだん短くなっているけれど、先生たちからいろんなことをまだまだ教えてもらいたいです。これからもっと頑張らないといけない。先生たちよろしくお願いします。





先月の活動 (9月)

日本語教室 9/3(M), 10,24(3回)
 ジモトーク会議 KIFA との打合せ 9/3 (土) (恩地)
 KIFA文化庁助成事業ネットワーク会議 9/5 (月) (恩地)
 文化庁助成事業指導者研修会
 9/8 (木) 9/11 (日) 9/18 (日) 9/25 (日)
 (恩地・重松・辻・中川・豊村・千野・前田)
 まちセン運営協議会施設部会 (於: ロクハ荘)
 9/6(金) (田中一美・前田)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング



今月の活動 (10月)

日本語教室 10/1(M), 15,22,29 (4回)
 KIFA文化庁助成事業ネットワーク会議 10/17 (月) (恩地)
 ジモトーク会議 KIFA との打合せ
 10/22 (土) (恩地・豊村・小春・吉田・中村)
 文化庁助成事業「やさしい日本語」講座 (恩地・小春)
 まちセン運営協議会施設部会 10/13 (木) (田中一美・前田)
 BNN 会議 10/3 (月) (佐野)

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(9月)

	9/3	9/10	9/24
先生	20人	21人	24人
生徒	34人	32人	27人



会員の動き(9月)

(入会) 永井章子さん 熊川拓磨さん
 (休会) (退会) なし
 (賛助会員) なし

お知らせ 1

オーリーブ恒例秋の遠足

オーリーブ日本語研修 文化庁助成事業

森の中でオノマトペ

バスにのって、森へ出かけ、秋の自然を楽しみながら、日本語のオノマトペを学びましょう。

日時: 11月13日(日) 9:00~17:00
 集合: 8:45 草津まちづくりセンター前
 行き先: 海辺いせもの森 (東近江市) ※大雨のときは琵琶湖博物館へ行きます。

持ち物: 弁当、飲み物、シート
 ※森の中を歩きます。歩きやすい靴をきてください!

参加費: オリーブのひと 500円 そのほかの人1000円
 定員: 40人 (先着順)
 申し込み: 下の申込書の空欄をいっしょに、オーリーブの受付にしてください。

森の中ですること
 クイズラリー
 たき火鑑賞
 パームクーヘンを焼く

オノマトペってなに?
 聞いた音や、さわったもの、見たものの様子などをことばであらわしたものを雨がざーざー、風がびゅーびゅー



(永井章子さん)

学習者の方と一緒に私も楽しく日本語を学びたいと思います。よろしくお願いします。



(熊川拓磨さん)

初めまして。滋賀県には今年の4月から転勤で参りました。週末には草津に親しみ、そして国際交流を...と思い参加させていただきました。これからよろしくお願いします。

お知らせ 2

平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

「日本語教育支援者研修」の案内

日本語で外国人とコミュニケーションしましょう!

～やさしい日本語の作り方～

10月23日(日) 10:00~12:00

～実践編『自信をもって活動するためのコツ』～

11月6日(日) 10:00~12:00

11月12日(土) 14:00~16:00

11月20日(日) 10:00~12:00

講師: 船見和秀先生 (伊賀日本語の会 テクニカルアドバ(ザー))

会場: 草津まちづくりセンター

参加料: 無料

申込先: 草津市国際交流協会 (TEL:077-561-2322)

詳細は上記までお問い合わせください。

お知らせ 3



食べる 遊べる 学べる 多文化子ども食堂

日時: 2016年10月22日(土)

11:00~14:00

今回はベトナム料理

参加費: 大人300円・中学生以下100円

場所: SHIPS 多文化共生支援センター3階

草津市草津1丁目12-13

申込先: SHIPS (喜久川)

TEL:077-561-5110

滋賀県社会福祉協議会

「滋賀の縁創造実践センター」助成事業



編集後記

あんなに暑かった夏も過ぎ、ふと気が付けばセーターが恋しくなる季節になりました。季節の変わり目です。体調を崩さないようにしましょう!!! (ES)

